

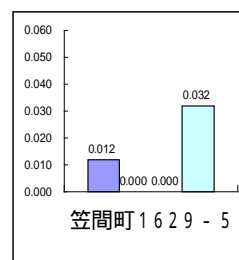
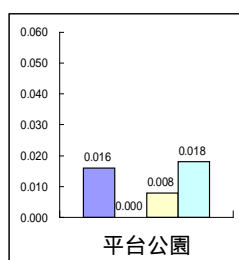
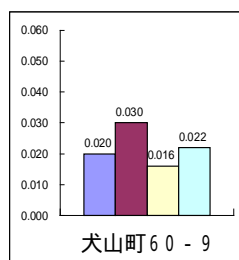
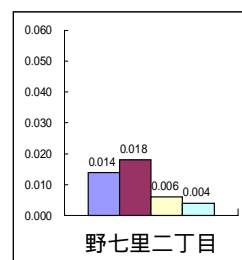
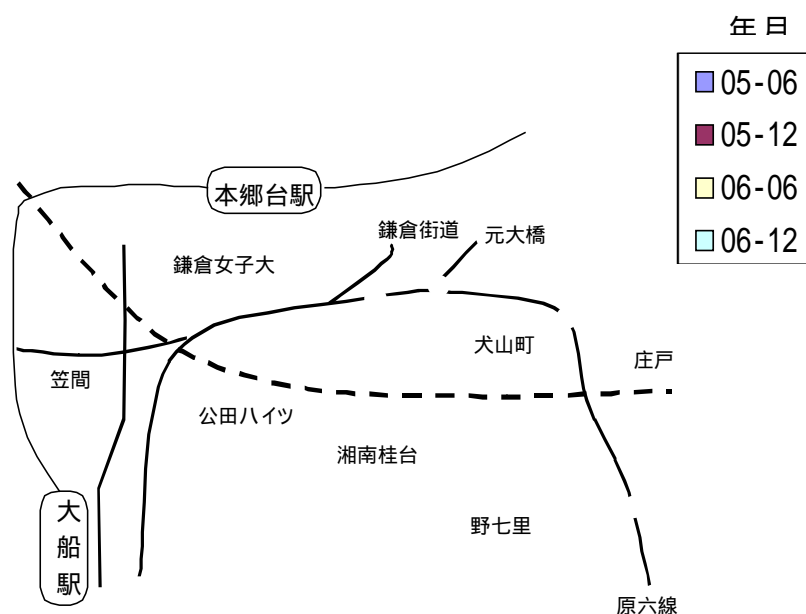
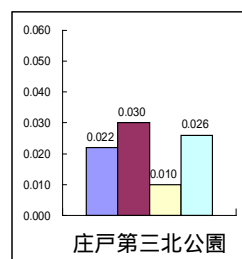
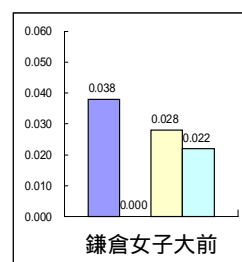
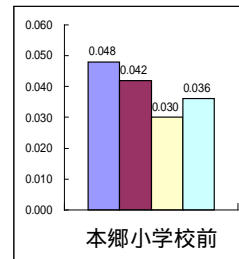
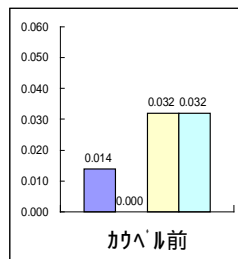
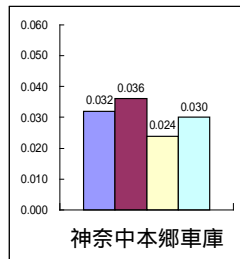
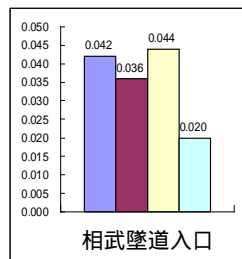
## 18年12月期のNO<sub>2</sub> 定点測定結果まとまる

連協環境部では各団体参加のもと、毎年6月と12月の2回栄区内の定められた場所47箇所に二酸化窒素の濃度を測定するカプセルを設置して、所謂定期定点観測をおこなっています。

今回は曇り微風の中での測定でした。全体に濃度は低く比較的きれいな空気でした。

以下に主な測定点の過去4回の測定値とグラフをしめします。

単位はPPM 現在の環境基準は0.06PPM以下です。



毎年6月と12月に測定していますが、6月は雨天の日が多く大気は比較的きれいです。12月は雨天の日が少ない上に風も弱い日が多く汚染された大気は発散しにくくなっておりまた12月の方が接地逆転層が発生しやすく風通しの悪い地点は数値は高くなります。いずれにしても6車線の大規模高速道路が開通すれば大気汚染の悪化は避けられず喘息患者の多発が心配される。